

大基委大評第 149 号

平成 26 年 3 月 17 日

東京女子大学

学長 眞田 雅子 殿

公益財団法人 大学基準協会

会長 納 谷 廣 美



貴大学の「改善報告書」の検討結果について (通知)

標記に関し、本年度、貴大学よりご提出頂きました「改善報告書」につきましては、大学評価委員会において慎重な審議を行い、別紙の通り検討結果をとりまとめましたので、ここにご通知申し上げます。

添付資料 「改善報告書検討結果 (東京女子大学)」

以上



〈 改善報告書検討結果（東京女子大学）〉

[1] 概評

2009（平成 21）年度の本協会による大学評価に際し、問題点の指摘に関する助言として 8 点の改善報告を求めた。今回提出された改善報告書からは、これらの助言を真摯に受け止め、意欲的に改善に取り組んでいることが確認できる。

ただし、教員組織については、専任教員の年齢構成のバランス改善に向けて改善がみられるものの、改組後の現代教養学部において、51～60 歳の割合が 32.5%と高いので、引き続き改善への努力が望まれる。

[2] 今後の改善経過について再度報告を求める事項

なし

以 上